



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 株式会社WDI 上場取引所 東
 コード番号 3068 URL https://www.wdi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 清水 謙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部本部長 (氏名) 佐々木 智晴 TEL 03-3404-3704
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,151	16.1	△517	—	△425	—	826	—
2021年3月期第3四半期	12,187	△47.6	△947	—	△1,049	—	△1,991	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,023百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △1,960百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	130.58	—
2021年3月期第3四半期	△314.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	17,425	5,383	24.7
2021年3月期	14,325	4,452	25.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 4,297百万円 2021年3月期 3,603百万円

(注) 資本性ローンを調整した自己資本比率 2022年3月期第3四半期 28.8% 2021年3月期 30.2%

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	23.3	△400	—	△450	—	500	△70.3	78.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	6,331,920株	2021年3月期	6,331,920株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	665株	2021年3月期	665株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	6,331,255株	2021年3月期3Q	6,331,255株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出や外出自粛要請等の影響を受け、企業活動は大幅に制限され、個人消費が大きく落ち込んでおります。緊急事態宣言の解除により回復傾向はみられたものの、オミクロン株のまん延による感染再拡大等により、同感染症の収束は依然見通しが立たず、経済環境の先行きは予断を許さない状況が続いております。

海外経済におきましては、同感染症の世界的な感染拡大により、コロナワクチンの接種が進んでいる地域においては個人消費が回復基調にあるものの、渡航制限や外出抑制など経済活動の制限が維持・強化される地域もあり、厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、同感染症の拡大防止に向けた休業あるいは営業時間短縮や酒類提供自粛の要請による来店客数の減少等があり、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「新しい生活様式」に対応すべく、お客様、取引先、従業員の安全を第一に考え、従来よりも一段上げた安心安全対策についての新たなガイドラインを設けて店舗での営業を行っております。

営業施策としましては、経済環境の回復傾向への推移がみられた状況の中、出店計画及び設備投資への積極的な取り組みを再開いたしました。また、在宅勤務の継続等によるテイクアウトやデリバリーの需要に応えるべく、新たな業態やメニューの開発にも引き続き取り組んでおります。一方、同感染症の予断を許さない状況はまだ続いておりますため、損失を最小限に留めるべく、営業継続に支障がない経費の削減を行い収益力の改善を継続しております。

資金面におきましては、売上低迷が長期化するリスクのもと、安定的なグループ経営の備えとして、手許資金を確保するために、長期的資金計画に基づいた借入及び人件費等のコストの削減等を実行しております。

また、前連結会計年度に売却した賃貸用不動産に替わる安定した収益力を目的に、文京区千駄木及び新宿区市谷加賀町に賃貸用不動産を新規に取得いたしました。

新規出店につきましては、国内において「カプリチョーザ」を墨田区のオリナス錦糸町に1店舗、「カプリチョーザ」の派生業態である「1978年渋谷で生まれたスパゲティ」を世田谷区の下北沢に1店舗、「エッグスンシングス」を横浜市西区のクイーンズスクエア横浜に1店舗、「ロメスパバルボア」を豊島区のサンシャインシティに1店舗出店いたしました。

フランチャイズ展開につきましては、国内において「カプリチョーザ」を3店舗出店いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,151百万円（前年同期比16.1%増）、営業損失は517百万円（前年同期は営業損失947百万円）、経常損失は425百万円（前年同期は経常損失1,049百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は826百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,991百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,943百万円となり、前連結会計年度末より562百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が1,395百万円減少した一方、売掛金が357百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は8,481百万円となり、前連結会計年度末より3,662百万円増加いたしました。これは有形固定資産が3,676百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は17,425百万円となり、前連結会計年度末より3,099百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,123百万円となり、前連結会計年度末より846百万円増加いたしました。これは、買掛金が355百万円増加、未払法人税等が235百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は7,918百万円となり、前連結会計年度末より1,321百万円増加いたしました。これは長期借入金が1,198百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は12,041百万円となり、前連結会計年度末より2,167百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,383百万円となり、前連結会計年度末より931百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が776百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年8月11日の「通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,418,752	6,023,711
売掛金	502,522	859,764
棚卸資産	574,296	659,997
預け金	426,436	620,281
その他	587,706	783,599
貸倒引当金	△3,355	△3,533
流動資産合計	9,506,358	8,943,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,367,101	7,969,340
減価償却累計額	△4,092,498	△4,412,241
建物及び構築物 (純額)	2,274,602	3,557,099
工具、器具及び備品	2,736,114	2,801,609
減価償却累計額	△2,371,363	△2,459,730
工具、器具及び備品 (純額)	364,751	341,879
土地	40	2,258,607
建設仮勘定	69,141	224,892
その他	40,241	37,504
減価償却累計額	△32,009	△26,988
その他 (純額)	8,231	10,516
有形固定資産合計	2,716,767	6,392,995
無形固定資産		
その他	233,582	227,473
無形固定資産合計	233,582	227,473
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,578,248	1,568,471
繰延税金資産	28,859	28,859
その他	262,020	264,008
貸倒引当金	△323	△322
投資その他の資産合計	1,868,804	1,861,017
固定資産合計	4,819,153	8,481,486
資産合計	14,325,511	17,425,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	484,063	839,949
1年内返済予定の長期借入金	1,050,320	1,177,187
短期借入金	25,000	—
未払金	654,894	831,779
未払費用	356,791	418,883
未払法人税等	154,590	390,398
賞与引当金	261,554	120,408
販売促進引当金	27,400	33,200
その他	262,129	311,451
流動負債合計	3,276,743	4,123,257
固定負債		
長期借入金	5,104,282	6,302,868
繰延税金負債	1,026,030	1,153,769
退職給付に係る負債	30,873	20,554
その他	435,395	440,873
固定負債合計	6,596,581	7,918,066
負債合計	9,873,325	12,041,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,558	50,000
資本剰余金	588,655	1,124,213
利益剰余金	2,578,817	3,354,927
自己株式	△641	△641
株主資本合計	3,752,389	4,528,499
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△148,826	△231,021
その他の包括利益累計額合計	△148,826	△231,021
非支配株主持分	848,622	1,086,504
純資産合計	4,452,186	5,383,982
負債純資産合計	14,325,511	17,425,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	12,187,291	14,151,367
売上原価	3,284,495	4,094,904
売上総利益	8,902,795	10,056,463
販売費及び一般管理費	9,849,798	10,573,849
営業損失(△)	△947,002	△517,385
営業外収益		
受取利息	2,163	895
為替差益	—	36,345
受取保険金	64,289	25,276
その他	32,762	63,061
営業外収益合計	99,215	125,580
営業外費用		
支払利息	49,240	29,061
為替差損	87,109	—
持分法による投資損失	33,709	—
その他	31,749	4,418
営業外費用合計	201,808	33,480
経常損失(△)	△1,049,595	△425,286
特別利益		
固定資産売却益	1,154	3,089
資産除去債務戻入益	23,565	—
助成金収入	129,603	1,667,457
債務免除益	—	608,518
特別利益合計	154,322	2,279,065
特別損失		
固定資産除却損	3,506	190
固定資産売却損	47	898
減損損失	285,025	—
店舗閉鎖損失	110,252	2,296
臨時休業による損失	495,212	132,875
特別損失合計	894,043	136,261
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,789,316	1,717,518
法人税等	128,302	621,650
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,917,619	1,095,867
非支配株主に帰属する四半期純利益	73,724	269,108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,991,344	826,759

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,917,619	1,095,867
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△42,898	△72,649
その他の包括利益合計	△42,898	△72,649
四半期包括利益	△1,960,517	1,023,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,026,126	744,564
非支配株主に係る四半期包括利益	65,608	278,653

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。